

## 第4章 計画の推進に向けて

## 1 | 市内・家庭、地域・関係機関との連携

### ●市内推進体制

教育に対する様々な課題に的確に対応していくため、教育現場における連携はもとより、市内の連携(教育委員会と市内各部署)を図り、効果的で質の高い教育行政の展開を目指します。

そのため、本計画に位置付けられている施策の推進にあたっては、関係各課による市内推進体制に基づき、必要に応じて協議を図りながら進捗管理を進めます。

### ●家庭、地域との連携

教育の原点は家庭であり、教育機関と家庭との連携が重要であることから、幼児期からの切れ目のない連携を図ります。

また、地域に開かれた学校教育の推進や、地域文化の保存・継承などにおいては、地域の力が重要であることから、地域との連携を積極的に推進します。

### ●関係機関との連携

国・県などの関係機関との連携を図り、本市に取り入れることができる事業については、積極的に取り組んでいきます。

さらに、キャリア教育や郷土教育、体験学習、放課後の学習支援や、地域に根差した生涯学習活動の推進などにおいては、市内の事業所やボランティアなどの協力を得ながら、市全体で取り組んでいきます。

より多くの協力を得るため、教育に関する様々な情報を積極的に発信し、情報共有に努めます。

## 2 | 教育大綱との関係

「教育振興基本計画」は「教育基本法」、「教育大綱」は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき策定されることが原則となっています。

本計画は、教育基本法に基づき、国・県の計画を参酌し、「基本理念・基本目標」と「施策の展開」で構成されますが、「基本理念、基本目標」は「つくばみらい市教育大綱」の全文を充てるものです。

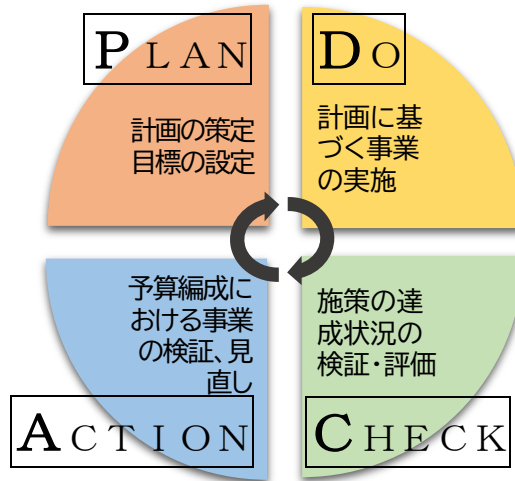
今後、新たな「教育大綱」が策定される場合は、「教育振興基本計画」の見直しを検討します。

### 3

## 進行管理手法の検討

### ●進捗状況の点検（PDCAサイクル）

本計画は、PDCAサイクル(PLAN「企画・立案」—DO「実施」—CHECK「分析・評価」—ACTION「改善」)により、進捗状況の点検を実施します。



計画の改定時の評価としては、目標指標（総合計画と整合）及び市民満足度の目標値の評価を実施し、計画の推進状況について検証します。

また、毎年度の検証・評価については、「つくばみらい市教育委員会事務の点検及び評価実施要綱」に基づき実施する「点検及び評価」と時期を合わせて、基本目標ごとの「取組方針」「具体的施策」の達成度や効果について検証します。

評価の結果については、「点検及び評価」と併せて、市民に公表するものとします。

実施時期	評価項目	検証・評価方法
2027年度 (令和9年度) 改定時に実施	目標指標	目標指標(総合計画と整合)に対し、達成状況进行评估する (重点施策実現のための成果指標及び活動指標)
	市民満足度の目標値	市民満足度の目標値に対し、達成した数値をもって評価する (アンケート調査による満足度の目標値)
各年度の 点検・評価と併 せて毎年実施	取組方針	毎年度、年度目標を掲げ、年度末の実施状況进行评估する。
	具体的施策	

### ●教育を取り巻く状況等の変化への対応

計画の推進過程においては、社会・経済情勢の大きな変化や国の制度改定など、教育を取り巻く状況の変化が考えられます。

これらの変化に臨機応変に対応するとともに、計画の実施状況から、その内容を精査し、必要に応じて計画を適宜、適切に見直します。